

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問
ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條ニ依リ新
聞紙雜誌又ハ文書圖畫ニ関スル件ヲ裁
可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十四年 月 日

内閣總理大臣

各省大臣

勅令第

内務大臣ハ特ニ命令ヲ發シテ新聞紙雜誌又ハ文書圖書ニ外交上ニ係ル事件ヲ記載スル者ヲシテ豫メ其草案ヲ提出セシメ之ヲ檢閲シテ其記載ヲ禁スルコトヲ得之ヲ犯ストキハ發行人編輯人又ハ發行者著作者ヲ一月以上二年以下ノ輕禁錮又ハ二十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

内務大臣ノ檢閲ヲ經タル事項ヲ轉載ス

ルハ前項ノ限ニアラス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

帝國憲法第八條ニ依リ新聞紙雜誌又ハ文書圖書ニ関スル件

右謹テ上奏シ

陛下ノ採擇ヲ仰キ併テ樞密院ノ議ニ附セラレコトヲ請フ

明治三十四年五月十五日

内閣總理大臣伯爵松方正義

昨十番^ヲ以テ本院ノ諮詢ニ附セラレタル新
聞紙雜誌又ハ文書圖書ニ関スル勅令案
本院ノ決議別紙寫ノ通上奏スル間本院
事務規程第十三条ニ依リ此^ハ及^ニ通報^ス也
明治廿五年五月十六日

樞密院議長伯爵大木喬任

内閣総理大臣伯爵松方正義殿



電報

昨十五日夕、以テ本院ノ諮詢ニ附ケラレ
タル新聞紙雜誌又ハ文書圖書ニ関
スル勅令案原案ノ通可決ス
右上奏ニ及ハレタシ

明治廿四年五月十六日

大木樞密院議長

徳大寺侍從長宛

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ恒密顧問
ヲ諮詢ス經テ帝國憲法第八條ニ依リ
新聞紙雜誌ニハ文書圖畫ニ關スル件
ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十四年

五月十六日

內閣總理大臣
各省大臣

勅令第百四十六号

内務大臣ハ特ニ命令ヲ以テ新聞紙雜誌又ハ文書圖書ニ外交上ニ係ル事件ヲ記載スル者ヲシテ豫メ其草案ヲ提出セシメ之ヲ検閲シテ其記載ヲ禁スルコトヲ得之ヲ犯ストキハ發行人編輯人又ハ發行者若著作者ヲ一月以上二年以下ノ輕禁錮又ハ二十圓以上三百圓以下ノ罰金處ス

内務大臣ノ検閲ヲ經ル事項ヲ轉載スル

ハ前項ノ限ニテ
本令ハ此後布ノ日ヨリ施行ス

局中四八

明治廿年五月廿日

内閣書記官

濟

内閣總理大臣



内閣書記官長

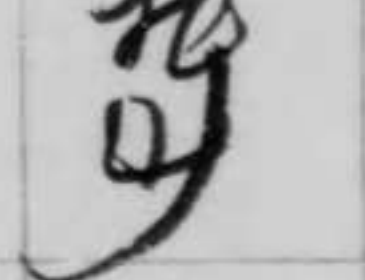


外務大臣

大蔵大臣



海軍大臣



文部大臣

逓信大臣

内務大臣

陸軍大臣

司法大臣

農商務大臣

大木 議長



新聞紙雜誌又ニ文書圖書ニ関スル件

右杞密院ノ御諮詢ヲ經御下付ニ付

同院議決ノ通發布セラル可然ニ

月

閣議ニ供ス

京都ニ於テ緊急勅令

上奏手續

一勅令案ハ内務大臣ヨリ之ヲ上奏シ御採
擇上侍従長ヲ電信ヲ以テ樞密院ノ
議ニ附セラル、旨ヲ議長ニ傳ヘ但案ハ内
閣ヨリ清取ルヘキ由ヲ達ス

同時ニ内閣ニモ樞密院ニ案ヲ廻スヘキ旨
ヲ通達ス

一樞密院ニ於テ議決シタルトキハ議長ヨリ
其旨ヲ電信ヲ以テ上奏シ御裁可ノ上ハ内

務大臣より内閣へ電信スル之ヲ通シ直ニ公布ス

但し御記名御璽及大臣副署手續ハ總テ東京還幸後ニ於テ之ヲ為ス

五月十七日

新聞紙雜誌又ハ文書圖畫ニ外交上ニ係ル事件ヲ記載セントスル者其草案ヲ以テ檢閲ヲ受ケシム

内務省令

内務省令第四號

新聞紙雜誌又ハ文書圖畫ニ外交上ニ係ル事件ヲ記載セントスル者ハ本年勅令第四十六號ニ依リ豫メ其草案ヲ東京府下ハ内務省へ其他ノ地方ハ其管轄廳へ提出シ檢閲ヲ受ケヘシ
本令ハ發布ノ日より施行ス

明治二十四年五月十七日

内務大臣 伯島西郷從道